

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
61211	市民との対話事業	市民部	タウンミーティング課	シートB	2

令和4年度	部局等名	市民部	課等名	タウンミーティング課	担当グループ名	市民との対話事業	連絡先	948-6333				
	部等長名	前神 千草	課等長名	川崎 俊彦	リダー名	主幹	山内 宏文	担当者名	副主幹	山本 早千奈	主査	佐伯 保範
令和3年度	部局等名	市民部	課等名	タウンミーティング課	担当グループ名	市民との対話事業	連絡先	948-6333				
	部等長名	田中 教夫	課等長名	川崎 俊彦	リダー名	主幹	古川 佳江	担当者名	副主幹	山本 早千奈	主査	佐伯 保範

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61211	市民との対話事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	222	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	市民参画による政策形成				主な取り組み	市民との対話による政策形成	
主な取り組み	市政参画機会の充実		市長公約				
取り組みの柱	市長や市職員が積極的に地域に向き、市政に関する説明や意見交換を行うなど、幅広い世代の市民との対話を推進します。						
総合戦略	4614	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	④ 地域の宝や特性を生かしたまちづくりを住民主体で行うための組織「まちづくり協議会」による自発的な取組を一層進めます。また、事例報告会などを通して、地域住民による特色あるまちづくりを進めます。		
		政策	⑥誰もが活躍できるふるさとづくりの推進				
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	①タウンミーティング 市民との直接対話を通じ、地域の魅力や課題等について認識を共有し、市民主体のまちづくりを進めることを目的とする。 ②笑顔のまつやま まちかど講座 市民に市の取り組みを知ってもらうとともに、市民と職員の相互理解を深め、市民からの意見や提言を行政に反映させることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	市長公約等に基づき、平成22年度から実施している。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	①タウンミーティング 対象：市内41地区の地域住民(35人程度)、世代別・職業別タウンミーティングのテーマの対象となる方 内容：市長が地域にお伺いして、地域の魅力や課題などについて、意見交換を行う。 ②笑顔のまつやま まちかど講座 対象：おおむね10人～30人の市民グループ(市内に在住、または通勤・通学する人を主とする集まり)。 内容：市民グループの申し込みにより、市職員が市民の集う場に向き、市政の取り組みについて説明と意見交換を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	広報広聴費	R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				867		781		729			
決算額(B)(単位:千円)				680		324		0			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			0		0		0			
	一般財源			680		324		729			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				時間外勤務手当:150千円 チラシ作製費(まちかど講座):26千円		時間外勤務手当:380千円 チラシ作製費(まちかど講座):50千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		187		457			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	①タウンミーティング…開催数 2回 ②笑顔のまつやま まちかど講座…開催数 98回					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	タウンミーティングと笑顔のまつやままちかど講座について、感染症拡大防止に努めながら、可能な限り実施することができた。市民の皆さんと意見交換の中で、参加者からは「市政や地域のことを考えるようになった」「まちづくりに協力したい」といった声も頂戴した。市民との対話を重ねることにより、市民主体のまちづくりの基盤が整ってきている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民との対話を通じて、市民主体のまちづくりの基盤が着実に整ってきているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症が全国的に広がっている状況である。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	感染症の発生状況等を注視し、感染症拡大防止に努めながら、事業を実施する。		
R4年度の目標	市民との対話を重ねることにより、市民と行政の相互理解を進め、できることから政策につなげる。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	①タウンミーティング タウンミーティングの開催 ②笑顔のまつやま まちかど講座 96テーマを用意し、申し込みにより講座を実施		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	タウンミーティングの開催回数	回	目標値	8	8	8	8	8	目標値	8
			実績値	8	4	2			達成年度	R6年度
		%	達成度	100	50	25				
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	概ね月1回(議会開催月を除く)のペースで開催している。			
	本指標の設定理由	市長と市民の皆さんとの直接対話を通じて、お互いの理解や連携を深める指標となるため。								
	まちかど講座実施回数	回	目標値	145	150	155	160	165	目標値	160
			実績値	197	80	98			達成年度	R4年度
		%	達成度	136	53	63				
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	実績を踏まえ、毎年5回の増を見込んだ値とする。 ※第6次総合計画(後期基本計画)の目標値と同値。			
	本指標の設定理由	市職員と市民の皆さんとの意見交換を通じて、協力しあいがらまちづくりを進める指標となるため。								
		目標値						目標値		
		実績値						達成年度		
	%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	タウンミーティング実施後アンケートによる参加者満足度	%	目標値	86	86	86	86	86	目標値	86
			実績値	91	95	96			達成年度	R6年度
		%	達成度	106	110	112				
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	平成23～30年度の参加者満足度の平均値(86%)が高いことから、その水準を維持する。			
	本指標の設定理由	市民と行政の信頼関係の醸成につながる指標となるため。								
	まちかど講座参加人数	人	目標値	4,350	4,500	4,650	4,800	4,800	目標値	4,800
			実績値	6,409	2,720	3,115			達成年度	R4年度
		%	達成度	147	60	67				
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	参加人数30人に講座実施目標回数を乗じた値とする。			
	本指標の設定理由	市民意識の向上につながる指標となるため。								
		目標値						目標値		
		実績値						達成年度		
	%	達成度								
指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	コロナ禍の中で、開催の中止や延期をしたことがあったものの、感染症の発生状況等を注視し、可能な限り実施することができた。								
	成果指標	まちかど講座は、コロナの影響で開催を見合わせたり、申込み数が少なかつたりして、目標には届かなかつた。タウンミーティングの参加者満足度は、目標を大きく上回ることができた。								
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										